

# 北海道森林管理局 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会

## 計画的な森林整備・治山対策、

## 森林の適正な管理・保全の取組を推進



各地区代表世話人の町村長

令和3年12月22日、北海道森林管理局において、令和3年度国有林野等所在市町村長有志連絡協議会を開催しました。

この連絡協議会は、道内の国有林が所在する市町村と森林管理局との連携強化を図ることを目的として毎年開催していますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により書面開催となったことから、2年ぶりの対面開催となりました。10月を皮切りに道内8地

区において各森林管理署等と各市町村長による有志協議会を開催し、各地区における実情等を共有してきました。

今回は全道での意見交換の場として、各地区の代表世話人である池部南富良野町長、馬場赤井川村長、戸田白老町長、佐々木天塩町長、菅原浜頓別町長、長屋滝上町長、徳永弟子屈町長、木村岩内町長にご出席いただいたほか、林野庁本庁より橘国有林野部長、長崎屋業務課長、村上計画課調査官がオンラインで出席しました。



橘 国有林野部長

冒頭、猪島局長より、「関係機関との連携を図りつつ、計画的な森林整備・治山対策、森林の適正な管理・保全の取組みを進めるにあたっては、国有林野の所在する市町村、地元の理解と協力が不可欠です。地域の意見や要望を伺いながら、地域の安全・安心な暮らしや地域振興のお役に立てるよう取り組んでいきたい。本日は忌憚のないご意見をお願いしたい。」と開会の挨拶がありました。

また、林野庁の橘国有林野部長より、「連絡協議会は国有林が所在する市町村のみならずと直接、意見交換できる貴重な場です。北海道森林管理局あるいは管内各署の取り組みの内容がみなさまの声を踏まえた、より良いものとなるようご意見をいただきました。」と挨拶

その後、連絡協議会の代表世話人である池部南富良野町長より、「2050年カーボンニュートラルやゼロカーボン北海道といった新たな動きもあるなか、地方と国がこれまで以上に連携していく必要がある。」とご挨拶をいただきました。



代表世話人 池部 南富良野町長

議事では林野庁から新たな森林・林業基本計画、令和4年度の林野関係予算の概要、令和3年度の林野関係補正予算の概要、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律、森林経営管理制度の取組状況などについて説明があり、続いて北海道森林管理局からウッドショックに関わる対応、エソシカ被害対策などについて説明を行いました。

次に、各地区の代表森林管理署長から各地区で開催された有志協議会の概要について報告を行いました。その後、各地区での実情を交えながら、地元森林管理署との連携などについて意見交換が行われました。

最後に猪島局長から「皆様方からいただいた様々なご意見については、きちんと受け止め地域振興に役立てていきたい。特に道産材については、できる限り地元で建築材等に加工して付加価値を高めて道内で使用するとともに、道内で消費できないものは道内で加工したものを道外へ移出していく取り組みを関係者の方々とともに進めていきたい。」と挨拶を行い、今年度の連絡協議会を締めくくりました。



猪島 北海道森林管理局長